TOYONAKA CITY

豊中市

とよなか

企業版ふるさと納税マッチング会

2026

地域とともに、未来をつくるパートナーへ



1 TOYONAKA CITY

豊中市について



大阪府

人口
約40万人
＜中核市＞

面積
36.6 ㎢
大阪市に隣接する都市

恵まれた交通アクセス

- 大阪国際空港
- 阪急宝塚線／大阪モノレール／北大阪急行線
- 大阪大学／大阪音楽大学
- 名神高速道路／中国縦貫自動車道／阪神高速道路

大阪都心・国際空港に近接する高い立地優位性を持つまちです

2 CITY BRAND

選ばれるまち、とよなか



教育文化都市

義務教育学校の開校など
先進的な教育環境



救命力世界一

救急隊・救命士数の面積
割合が全国トップレベル



高校スポーツ
発祥の地

全国高校野球選手権の前
身大会が豊中で初開催



良質な住環境

人口減少下でも「住みたい
まち」として微増傾向



音楽あふれるまち

日本センチュリー交響楽団
など文化芸術と連携

↑ 本年10月15日、市制施行90周年。まちの価値はいま、さらに高まっています

3 SYSTEM

企業版ふるさと納税制度とは

豊中市外に本社のある企業が、国の認定を受けた地方創生プロジェクトに10万円以上の寄附を行った場合、法人関係税から最大9割の税額控除を受けられる制度です。



法人住民税｜寄附額の4割を税額控除（法人住民税割額の20%が上限）
法人税｜住民税で控除しきれない残額を税額控除（寄附額の1割程度が上限）
法人事業税｜寄附額の2割を税額控除（法人事業税額の20%が上限）

※税額控除の手続き・算出については税理士や所轄の税務署へご相談ください。

令和7年度の実績でみると…

112,202,780円
のご寄附をいただきました

税制上は、参画企業の皆様に

最大約

1億円

の法人関係税 軽減効果（試算）

※ 控除上限を考慮した目安です。実際の控除額は貴社の税額等により異なります。

4 VALUE

税制優遇だけではない、3つの価値

寄附は「コスト」ではなく、未来への「投資」です。

01

社会貢献

企業としてのPR効果、SDGs達成への貢献を、豊中市とともに社会に発信できます。

02

パートナーシップの構築

地方公共団体との新たな関係を築き、行政ならではの信頼・ネットワークにアクセスできます。

03

新事業展開

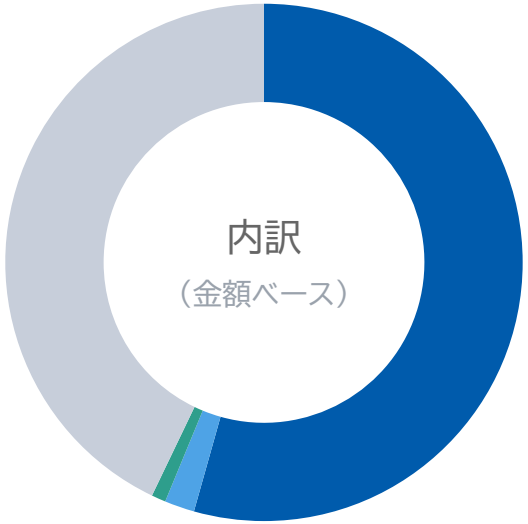
地域資源や現場課題を活かした実証・協業など、新たな事業機会の創出につながります。

5 TRACK RECORD

確かな実績があります

令和7年度　企業版ふるさと納税 寄附実績

合計	総額
56 件	112,202,780 円



豊中つばさ公園『ma-zika』整備事業	22件／6,100万円
花いっぱい大作戦	8件／210万円
「学びの多様化学校」の設置	10件／100万円
その他の事業（物納含む）	16件／4,810万円

いただいた寄附は、豊中の未来をつくる具体的な事業として着実に形になっています。

6 CASE STUDY

寄附が生んだ成果：豊中つばさ公園『ma-zika』



飛行機を間近に体感できる新たな都市公園



雑誌でも
紹介されました!

『進化がスゴイ! 公園本 関西版』
発行元：ぴあ株式会社



来場実績
約40万人
令和7年8月 屋根付広場等 供用開始後

SNS再生数
127万回超
つばさ公園関連（Instagram等）

メディア掲出
TV9回・新聞12回
各局ニュース・情報番組等で紹介

クラウドファンディング
547万円
令和8年9月末時点

空港という存在を誰でも間近に感じられる唯一無二の施設に。
令和9年の完成が楽しみです。

令和7年度 寄附実績 **22件 ／ 6,100万円**

7 PROGRAM

本日の趣旨・プログラム

豊中市が取り組む地方創生プロジェクトを直接知っていただき、貴社の想いを託せる事業を見つけていただく場です。

15:15～	**制度説明・メリット紹介**	OAG税理士法人　大阪支店　支店長　坂上　基 様 企業版ふるさと納税の制度概要・税制メリットについて
15:30～	**包括連携協定締結企業による取組み紹介**	株式会社りそな銀行　大阪公務部　部長　杉山 太作 様 企業版ふるさと納税を活用した豊中市との連携について
15:40～	**豊中市の重点事業を、担当職員が直接ご紹介**	豊中市の重点事業・企業の取組み紹介　各5分程度
16:10～	**行政・企業・企業同士の新たなつながりを創出**	登壇者・参加企業の皆様との自由交流

8 SPEAKER PROFILE

「制度説明・メリット紹介」にご登壇いただく講師をご紹介します

15:15～ 制度説明・メリット紹介

GUEST SPEAKER

Total consulting firm

OAG税理士法人

坂上　基 様

OAG税理士法人
大阪支店　支店長

業務概要

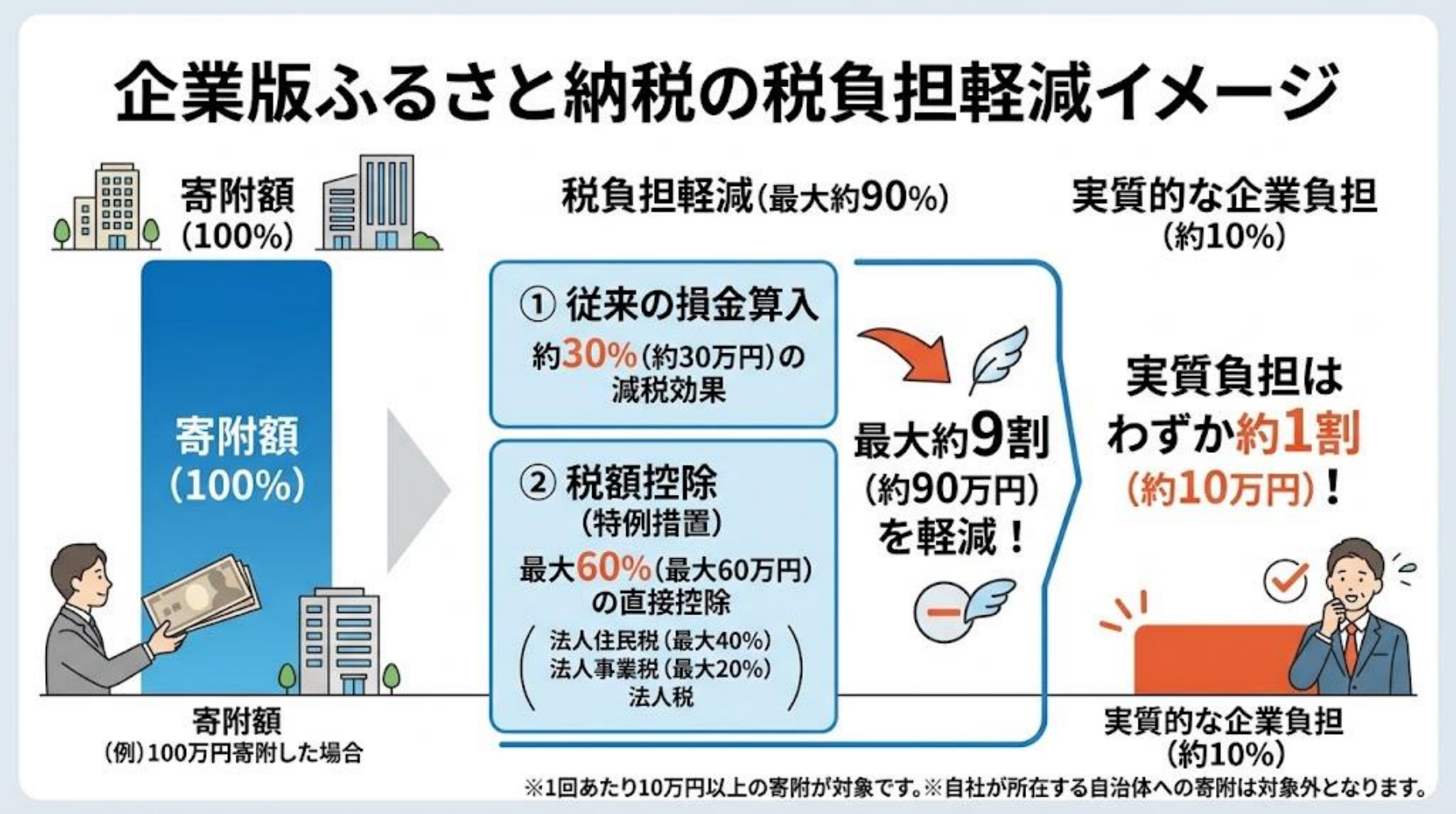
個人・法人の税務会計から資産承継、経営までトータルにサポート。円滑な事業承継や経営戦略の実現、複雑な資産課題の解決など、あらゆる要望に多角的なアプローチで向き合い、個人と企業の安定的な未来を支えるため日々尽力している。

プロフィール（経歴）

2012年4月	税理士	登録
2012年7月	OAG税理士法人	入社
2017年7月～	OAG税理士法人　大阪支店	支店長（現職）

8 TAX BENEFIT

税負担軽減のイメージ



8 SIMULATION 01

寄附額100万円の計算例

具体的に100万円を寄附した場合の税負担の軽減効果と実質負担額の内訳

軽減効果の内訳（上限に達していない場合）

軽減項目	軽減率	100万円寄附時の金額
① 損金算入による軽減	約30%	約30万円
② 法人住民税の特別控除	寄附額の40%	40万円
③ 法人事業税の特別控除	寄附額の20%	20万円
税負担軽減の合計	**約90%**	**約90万円**

主な制度上の注意点

1. **最低寄附金額**：1回あたり**10万円以上**の寄附が対象です。
2. **本社所在地の自治体は対象外**：企業の**本社（主たる事務所）が所在する都道府県・市町村**への寄附には適用されません。
3. **返礼品（経済的利益）の受け取り禁止**：寄附の見返りとして金銭や特産品などの経済的利益を受け取ることは禁じられています。

8 SIMULATION 02

寄附額500万円の計算例

具体的に500万円を寄附した場合の税負担額の内訳

課税所得　5,000万円

軽減項目	寄附なし	500万円寄附時の金額
① 法人税額	約1,200万円	約1,000万円
② 法人住民税額	約100万円	約80万円
③ 法人事業税額	約450万円	約340万円
税負担の合計額	**約1,750万円**	**約1,420万円**

差額　**約330万円**

実質負担額　**約170万円**

8 SIMULATION 03

寄附額1,000万円の計算例

具体的に1,000万円を寄附した場合の税負担額の内訳

課税所得　1億円

軽減項目	寄附なし	1,000万円寄附時の金額
① 法人税額	約2,490万円	約2,120万円
② 法人住民税額	約240万円	約175万円
③ 法人事業税額	約980万円	約750万円
税負担の合計額	**約3,710万円**	**約3,045万円**

差額	約665万円	実質負担額	約335万円

9 SPEAKER PROFILE

「包括連携協定締結企業による取組み紹介」にご登壇いただく講師をご紹介します

15:30～　包括連携協定締結企業による取組み紹介

GUEST SPEAKER

りそな銀行
RESONA

杉山　太作 様

株式会社りそな銀行
大阪公務部　部長

業務概要

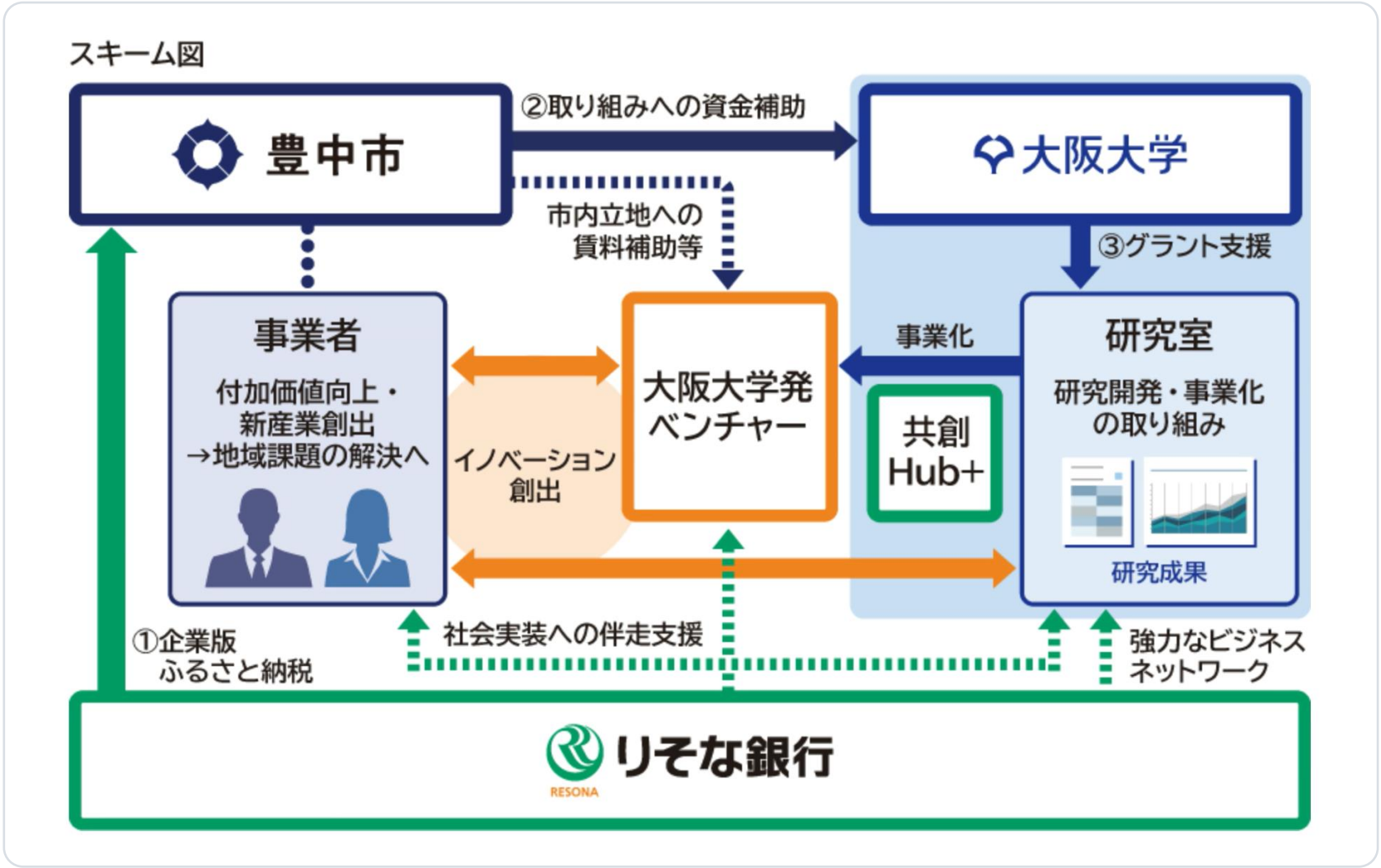
大阪公務部（大阪府下の自治体を担当する営業店）の統括責任者を務める。
金融サービス提供を推進すると共に、営業戦略の策定・実行、人材育成、コンプライアンスおよびリスク管理を通じて、地域経済の発展と収益向上に取組んでいる。

プロフィール（経歴）

2020年1月	株式会社りそな銀行茨木支店	支店長
2021年10月	同　新都心営業部	営業第二部長
2024年4月	同　平野支店・長吉・田辺エリア統括	統括支店長
2026年4月～	大阪公務部	部長（現職）

9 COLLABORATION SCHEME

企業版ふるさと納税を活用した連携スキーム



10 TODAY'S PROJECTS

本日ご紹介する5つの重点事業

01



豊中つばさ公園
「ma-zika」整備事業

募集額

2億円

02



教育DX推進事業

募集額

1億円

03



地域クラブ活動事業

募集額

1,000万円

04



路上喫煙対策
推進事業

募集内容

密閉型屋外分煙所2か所
（物納等）
※2000万程度／1か所

05



西山家住宅・
西山氏庭園整備事業

募集額

5,000万円

01

豊中つばさ公園「ma-zika」整備事業

PROJECT 01

1 PROJECT VISION

目指す未来・事業の概要・募集額

空と人が出会う、日本一空港に近い公園へ

大阪国際空港に隣接する「ma-zika」は、飛行機を間近に体感できる新たな都市公園です。令和9年3月の全面開園に向け、にぎわいと交流を生み出す公園整備を進めています。

募集額 **2億円**



2 CURRENT ISSUE

なぜ今必要か（現状と課題）

豊中の新たなランドマークづくりへ

一部施設は供用開始

来場実績（一時開園から約1年）

約40万人 全面開園後の想定（年間40万人）に迫る来場

長時間滞在できる機能が不足



→ **にぎわい施設の整備が必要です**

ご寄附で実現する未来

BEFORE



機能が限定的

ご寄附

AFTER



魅力ある公園へ

- 大屋根マルシェ広場
- 遊具広場
- 展望芝生広場
- にぎわい施設整備

寄附金の活用内容

募集額

2億円

- 屋根付マルシェ広場整備
- 遊具広場整備
- 展望芝生広場整備
- にぎわい施設整備



※イラストは令和6年7月時点のイメージです

5 PARTNERSHIP

企業メリット・共創イメージ

企業と共に創る新たな観光交流拠点

Ad 銘板等による企業PR

設置場所





1 豊中つばさ公園「ma-zika」に設置された実際の銘板



2 マルシェ広場に設置予定の独立型銘板

10万円～

市HP、園内デジタルサイネージへ企業情報掲載

100万円～　ブロンズ　20×10cm

市長から感謝状贈呈、園内へ銘板（小）を恒久的に掲示

500万円～　シルバー　40×10cm

報道各社へ情報提供、園内へ銘板（中）を恒久的に掲示

1,000万円～　ゴールド　60×20cm

紺綬褒章への推薦、園内へ銘板（大）を恒久的に掲示

最上位プラン

2,000万円～（累計）　プラチナ　60×40cm

園内マルシェ広場に独立型の銘板を恒久的に設置

02

教育DX推進事業

PROJECT 02

1 PROJECT VISION

目指す未来・事業の概要・募集額

すべての子どもに
未来への学びを

ICT環境の整備と学校DXを推進し、3万人の子どもたちが、デジタル技術を活用しながら未来社会を主体的に生きる力を育む教育環境を実現します。市立小・中・義務教育学校を舞台に、多様な先端技術を結集する大規模共創プロジェクト。

募集額

1億円
（資金寄附 ＋ ハードウェア等の現物寄附を広く受付）



2 CURRENT ISSUE

なぜ今必要か（現状と課題）

未来を生きる子ども達のための教育環境アップデートを

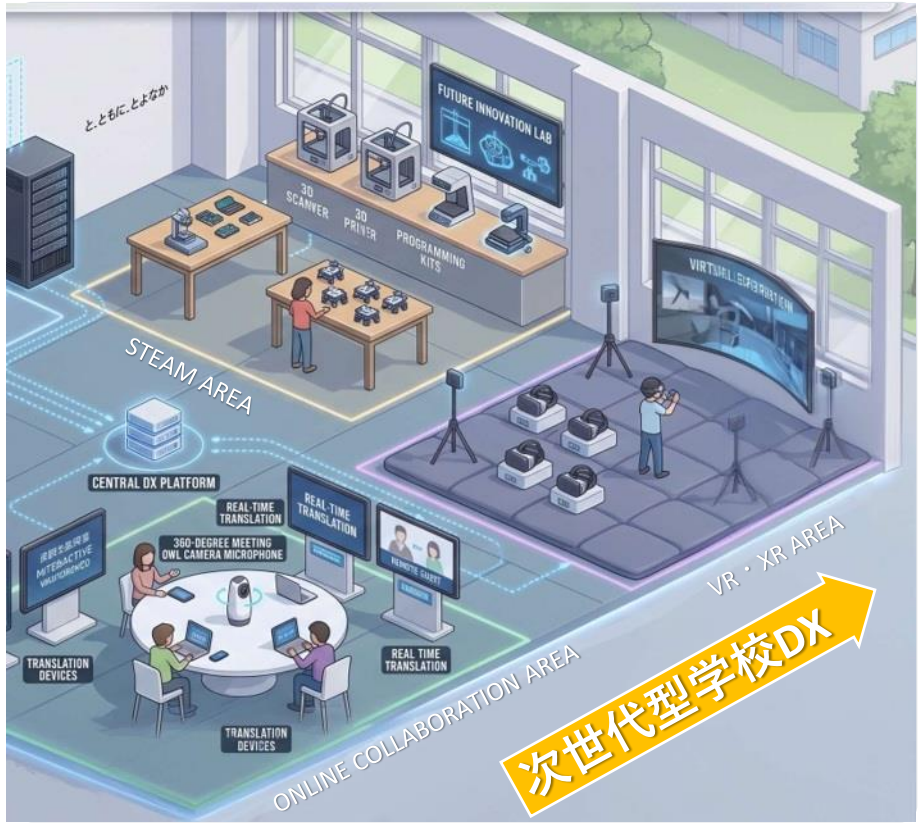
GIGAスクール構想による次世代型学校DX環境

児童生徒数

約30,000人

学校数

53校



→ 生成AIに代表される予測困難な時代をこれから生きていくこども達一人ひとりに最適な学び環境の整備が急務です

3 IMPACT

ご寄附で実現する未来

学びが変わる、学校が変わる

BEFORE



より良い学びと効率化の余地がある学校

ご寄附

AFTER



最先端ICTを駆使した未来の学びへ

- ICT活用による個別最適な学び
- デジタルデバイスに触れる機会創出
- 校務のデジタル化・効率化
- 教師がこどもと向き合う時間の創出

寄附金の活用内容

募集額

1億円
（資金寄附 ＋ ハードウェア等の現物寄附を広く受付）

- 一人一台端末によるICT教育環境
- 最先端デジタルデバイスに触れる機会
- STEAM教育の推進
- 地域とともに創る未来の学校教育



未来を担う子どもたちへの投資

将来の地域社会の担い手
3万人への未来投資



寄贈先学校HPの
校長だよりによる紹介



出前授業を通じた
企業SDGs取組紹介



寄贈物品の寄付者銘板による
教育支援企業としてのPR



03

地域クラブ活動事業

PROJECT 03

1 PROJECT VISION

目指す未来・事業の概要・募集額

すべての子どもに
挑戦と成長の機会を

地域・企業・行政が連携し、すべての子どもたちに多様な挑戦と成長の機会を創出します。子どもたちの挑戦を支えることが、未来を担う人材の育成と、持続可能な地域づくりにつながります。

募集額

1,000万円





2 CURRENT ISSUE

なぜ今必要か（現状と課題）

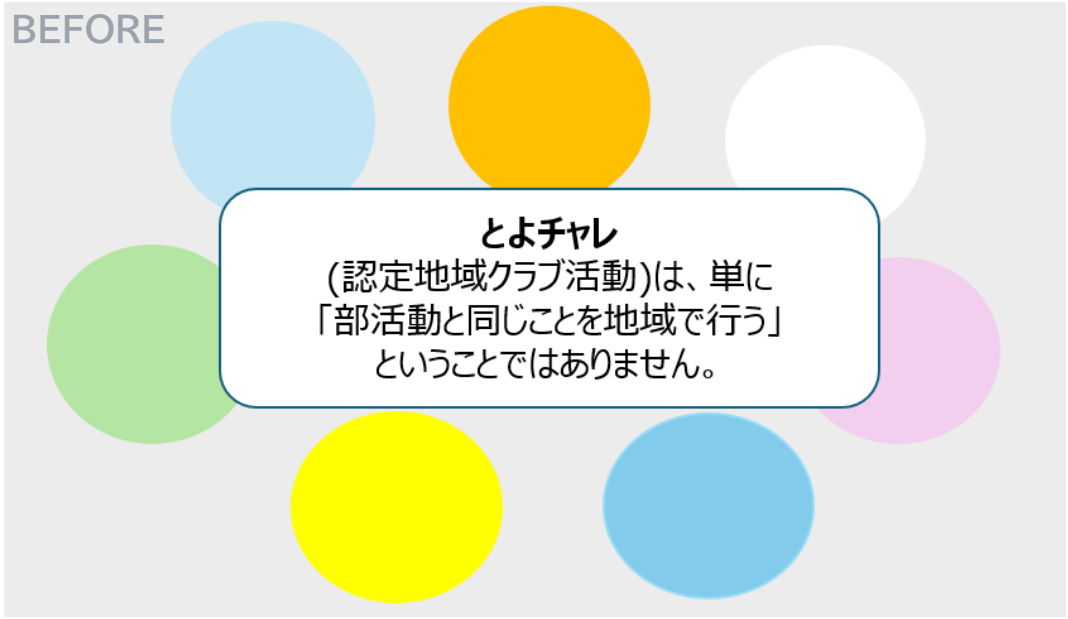
子どもたちの「やってみたい」が、地域の未来をつくる。

- 少子化の進行と教員の献身性に依存した制度設計
- 指導者不足への懸念
- 活動環境の整備と保護者負担への配慮



→ 地域ぐるみでの活動機会の確保が必要です。

子どもたちの挑戦が地域の可能性をひろげる



活動機会の縮小

ご寄附



多様な体験機会へ

- 多様なスポーツ体験
- 文化芸術活動の充実
- みんなの「やりたい」でつくる。
- 持続可能な活動へ

寄附金の活用内容

募集額

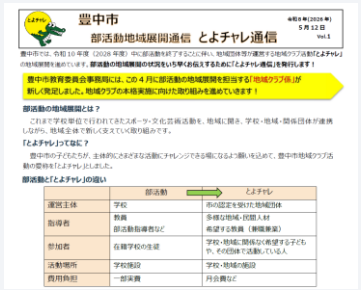
1,000万円

- 共同利用備品の整備・管理
- 安心・安全な地域クラブ活動の運営支援
- 保護者負担費の軽減



地域全体で子どもの未来を支える

子ども支援企業としてPR


豊中市
部活動地域展開通信　とよチャレ通信
Vol.1

豊中市では、令和10年度（2028年度）中に部活動を終了するに伴い、地域団体等が運営する地域クラブ活動「とよチャレ」の地域展開を進めています。部活動の地域展開の状況をいち早くお伝えするために「とよチャレ通信」を発行します！

豊中市教育委員会事務局には、この４月に部活動の地域展開を担当する「地域クラブ係」が新しく発足しました。地域クラブの本格実施に向けた取り組みを進めています！

部活動の地域展開とは？
これまで学校単位で行われてきたスポーツ・文化芸術活動を、地域に開き、学校・地域・関係団体が連携しながら、地域全体で新しく支えていく取り組みです。

「とよチャレ」ってなに？
豊中市の子どもたちが、主体的にさまざまな活動にチャレンジできる場になるよう願いを込めて、豊中市地域クラブ活動の愛称を「とよチャレ」としました。

部活動と「とよチャレ」の違い

	部活動	⇒ とよチャレ
運営主体	学校	市の認定を受けた地域団体
指導者	教員 部活動指導員など	多様な地域・民間人材 希望する教員（兼職兼業）
参加者	在籍学校の生徒	学校・地域に関係なく希望する子どもや、その団体で活動している人
活動場所	学校施設	学校・地域の施設
費用負担	一部実費	月会費など

イベント・成果発表会へのご招待



ポータルサイト等での企業紹介



次世代人材育成への参画



04

路上喫煙対策推進事業

PROJECT 04

1 PROJECT VISION

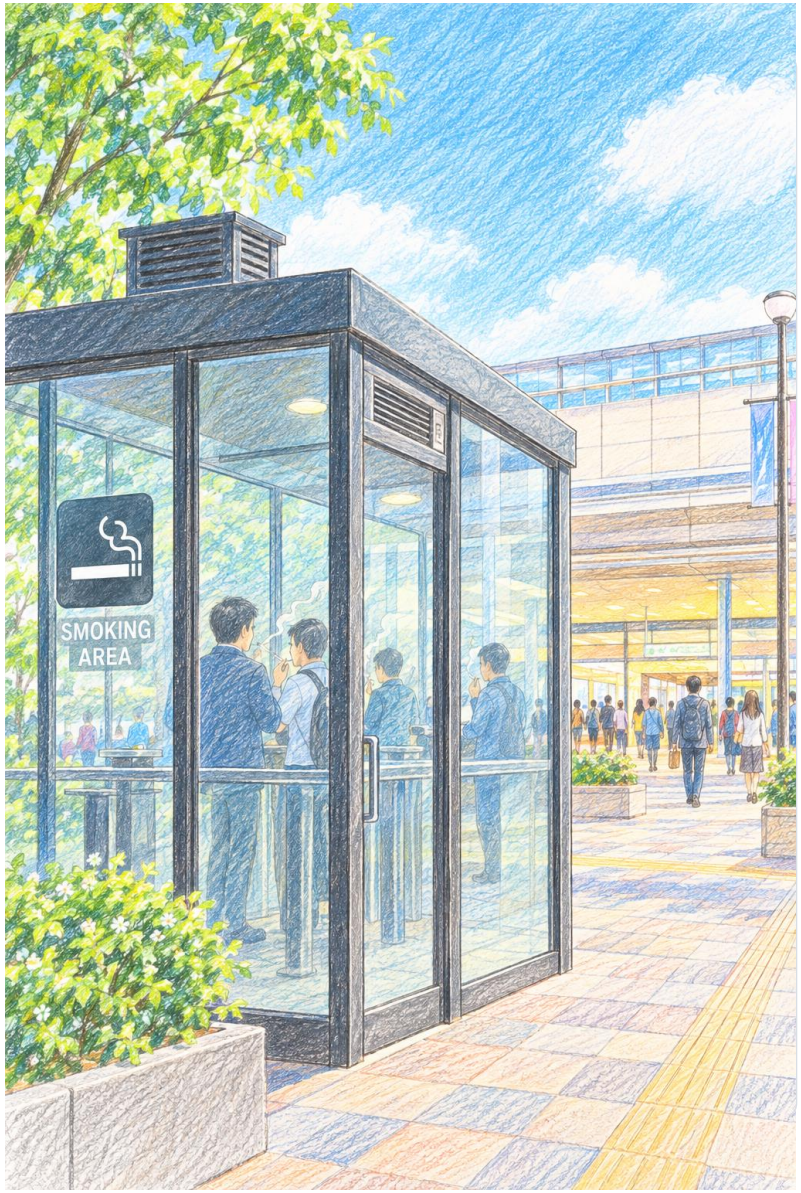
目指す未来・事業の概要・募集額

誰もが快適に過ごせる駅前空間へ

喫煙者・非喫煙者が共存できる、安全で快適なまちづくりを進めます。

募集内容

密閉型屋外分煙所
2か所（物納可）
2000万程度／1か所



2 CURRENT ISSUE

なぜ今必要か（現状と課題）

駅前環境の改善が求められています

- 路上喫煙の発生
- ポイ捨ての増加
- 受動喫煙による健康への影響



→ 喫煙者・非喫煙者が共存できる環境整備が必要です

3 IMPACT

ご寄附で実現する未来

クリーンで快適なまちへ

BEFORE



路上喫煙・煙の拡散

ご寄附

AFTER



快適な駅前空間へ

- 密閉型分煙所の整備
- 受動喫煙対策
- ポイ捨て防止
- 快適な歩行空間

寄附金の活用内容

募集内容

密閉型屋外分煙所
2か所（物納可）
2000万程度／1か所

駅周辺の路上喫煙禁止区域に設置
※設置する駅は未定

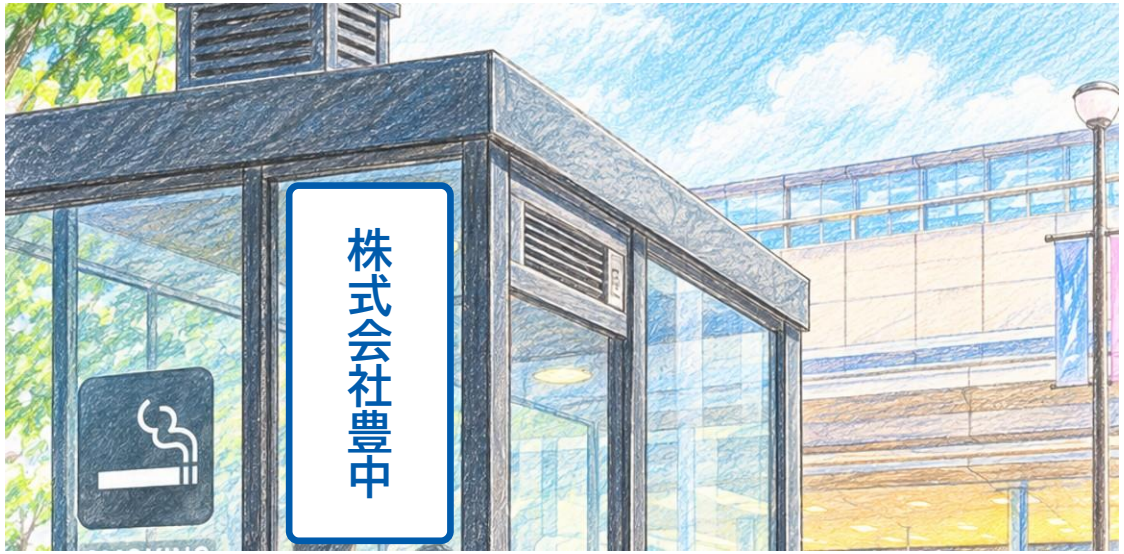
- 密閉型屋外分煙所整備
- 分煙所の維持管理
- 環境美化の推進
- 啓発活動の実施



健康で快適な都市空間づくりへ

分煙所への企業名表示による企業PR

「受動喫煙のないまちづくり」支援企業としてのPR



企業名を分煙所に表示（イメージ・企業名は仮）

企業名の掲載サイズ

寄附額ごと・縦×横

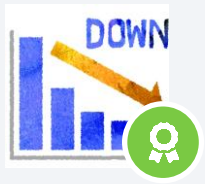
10万円～	縦8cm × 横20cm程度
100万円～	縦20cm × 横20cm程度
500万円～	縦20cm × 横40cm程度
1,000万円～	縦40cm × 横40cm程度



市HPや分煙所内掲示による紹介



受動喫煙がないまちづくり
誰もが快適に過ごせる都市空間づくり



たばこのポイ捨てごみが減少し
美しいまちづくりに貢献

05

西山家住宅・西山氏庭園整備事業

PROJECT 05

1 PROJECT VISION

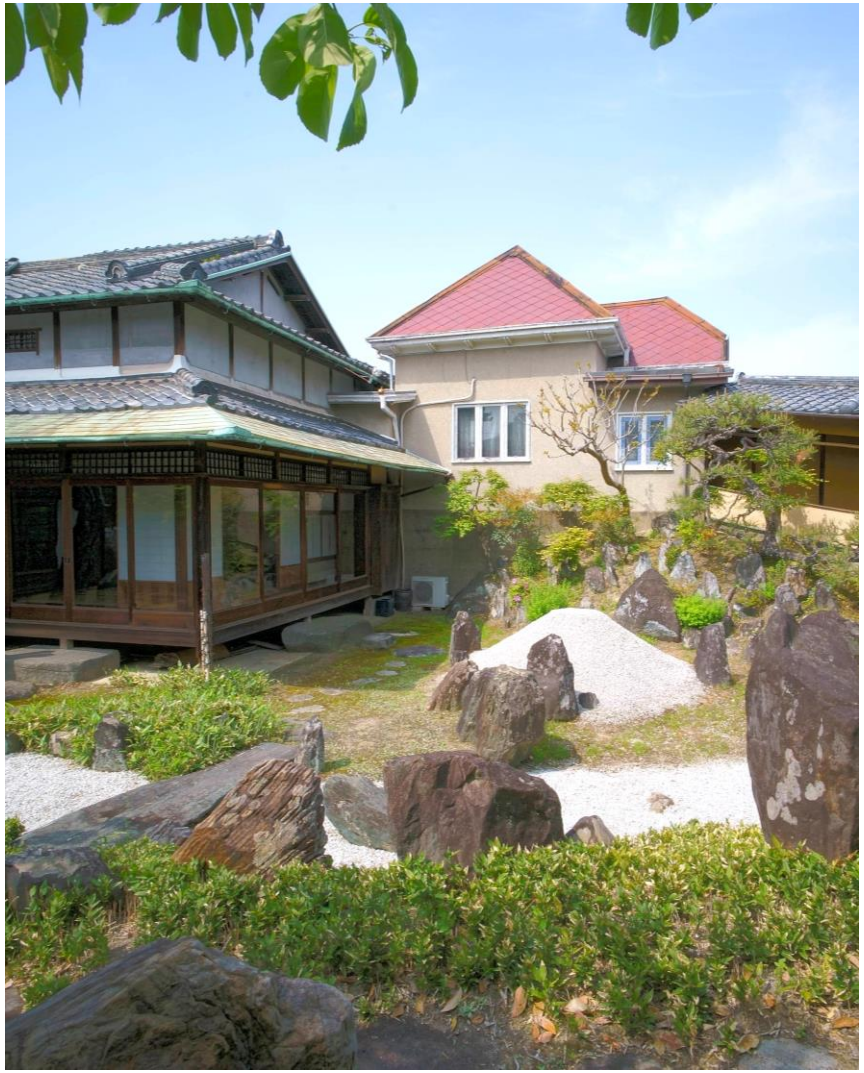
目指す未来・事業の概要・募集額

100年後へ 文化財をつなぐ

豊中市唯一の国指定名勝である西山氏庭園。
豊中の歴史と文化を未来へ継承するため、貴重な文化財の保存・修復を進めます。

募集額

5000万円



2 CURRENT ISSUE

なぜ今必要か（現状と課題）

貴重な文化財が修復の時期を迎えています

- 自然災害による損傷
- 経年劣化の進行、耐震性不足
- 修復･保存費用の確保が必要



→ 次世代へ継承するための修復整備が急務です

歴史を未来へ受け継ぐ

BEFORE（今年度、修復する主屋の台所）



文化財の劣化･損傷

ご寄附

AFTER



保存･公開･継承へ

- 建造物･庭園の修復･整備･保存
- 一般公開の推進
- ふるさと教育の推進
- 次世代への継承

4 DONATION PLAN

寄附の使い道･活用内容

寄附金の活用内容

募集額

5000万円

- 建造物（主屋･正門･高塀）の修復
- 庭園（青龍庭･中庭など）の整備
- 公開環境の整備
- 保存活用の推進





▲整備が終了した建物から活用を開始しています。





▲今年度は主屋･高塀などの建物を整備します。

豊中の歴史と文化を未来へつなぐ

文化財支援企業として銘板での発信

寄附額	掲載サイズ（縦×横 cm）
10万円～	8×16
100万円～	15×30 または 10×45
500万円～	20×40 または 16×50


イメージ

西山氏庭園の正門に銘板にて社名等の掲載

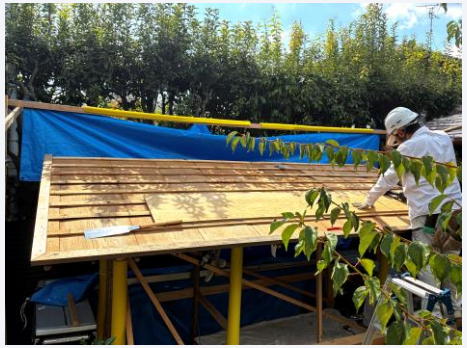
※工事の施工状況で設置場所の変更あり

刊行物への掲載



毎年発行している
文化財ニュースへの社名の掲載
（発行部数：3000部）

文化財の修復の推進



文化財の保存・活用への貢献PR





11 NETWORKING

交流会について

気になる事業があれば、ぜひお気軽に声をかけてください

登壇者はもちろん、他の参加企業の皆様とのご交流も大歓迎です。この出会いを、次のつながりへ。

企業同士の交流も歓迎

ビジネスネットワーク構築も大歓迎です。配布の参加企業一覧をご活用ください。

スタッフへお気軽に

話を聞きたい事業の担当者が見つからない場合は、スタッフまでお声がけください。

11 BOOTH EXHIBITION

交流会ブースでも、3つの事業をご紹介します



01

教育委員会事務局　社会教育課

わっぱる子ども未来づくりプロジェクト

子どもたちから選ばれる施設への変革を

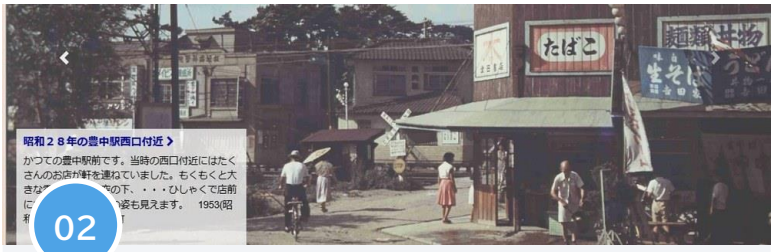
募集額 500万円

寄附金の使いみち

・和式トイレの洋式化
・防災トイレの設置
・青少年自然の家「わっぱる」の整備

企業メリット

・寄附額に応じ、社名・企業ロゴ等を施設内に銘板で掲示（予定）



02

教育委員会　読書振興課（岡町図書館）

北摂アーカイブス事業

地域の歴史や文化をデジタル化し継承していく

募集額 120万円

寄附金の使いみち

・デジタル化機器の購入
・デジタル化の委託料
・キックオフイベント（講演会等）の実施

企業メリット

・パネル展・主催イベントで企業名を紹介
・北摂アーカイブスのサイトに企業名を掲載



03

市民協働部　コミュニティ政策課

とよなか夢基金（市民公益活動基金）

市民・企業・行政がともに取り組む地域課題の解決

募集額 150万円

寄附金の使いみち

・子育て中の保護者の孤立を防ぐ子育て支援
・都市型農園での子ども農業体験・食育
・不登校等の方の居場所づくり、環境問題 ほか

企業メリット

・基金HP・チラシ、豊中駅前の展示等で企業名を紹介
・助成団体の活動の視察・参加、企業イベントへの出張参加

ご関心のある事業は、交流会のブースで担当職員にお気軽にお声がけください。

アンケートのご協力をお願いします

今後の取組みの参考とさせていただきます。回答は2～3分程度で終わります。

お問い合わせ先

豊中市　都市経営部　経営戦略課

06-6858-2745

souzou@city.toyonaka.osaka.jp

ともに翔けるミライへ　～想いをカタチに～